

**シカは全身、地域の宝
シカ産業を興して、地域を元気に！**

良質な肉・皮革・角を得る

シカの飼いや活かし方

宮崎昭(京都大学名誉教授)・丹治藤治(獣医師、日本鹿皮革開発協議会会長)著
A5判並製 168頁(カラー口絵8頁)
本体価格 2,200円(税込 2,376円)

近年深刻化するシカ被害。捕獲によって個体数を減らす対策がとられるが、シカ資源の活用は思うように進んでいない。

古くからシカと親密につき合ってきた歴史を精神史、物質史両面からふりかえりながら、現在のシカ被害対策の問題点を浮き彫りにする。そして、問題解決の方向性をシカの準家畜化に見出し、シカを丸ごと地域資源として有効活用するための方策を提案する。

また、1990年代から試みられてきた国内での養鹿(シカ飼育)の取り組みを検証しつつ、今後シカ産業を興し、地域を元気にしていくための牧場経営やシカの生理生態を踏まえた飼養管理の方法について具体的に解説する。

***** **11月末発行予定** *****



【目次】

第1章 シカ被害解決への道すじ

1. シカの資源活用への展望

- (1) シカ被害の広がりと対策の限界
- (2) 狩猟から保護への歴史をふり返る
- (3) なぜシカはここまで増えたのか
- (4) シカの準家畜化で地域を元気に

2. 養鹿への挑戦—シカ飼育の歴史と現状

- (1) 日本における養鹿のはじまり
- (2) 養鹿事業への期待
- (3) 養鹿事業の発展と養鹿協会の設立
- (4) これまでの養鹿経営
- (5) これまでのシカの飼育管理
- (6) 特用家畜化と産業育成への試み
- (7) 海外の養鹿事情をみる

第2章 シカと人との関係史から

1. シカの世界文化史

- (1) 神鹿・神使いとしてのシカ
- (2) 呪術的宗教とシカ毛皮
- (3) シカにあやかった鹿踊
- (4) 文学・音楽・絵画とシカ

2. シカの物質文化史

- (1) 丸ごと利用されたシカ
- (2) 食用にされた肉と内臓
- (3) 細工された鹿角
- (4) 薬効のある鹿茸
- (5) 重宝された鹿皮革

第3章 牧場の経営に向けて

1. シカの生態と行動を知る

- (1) 一般的な行動習性
- (2) 群れと社会的行動
- (3) 山ジカと里ジカの区別
- (4) 一般的な食性

2. 牧場(飼育施設)を選定する

- (1) 地形、地勢と土壌の条件
- (2) 飼育舎
- (3) 放牧場
- (4) フェンス

(5) 管理小屋日

3. シカを導入する

- (1) 品種選定のポイント
- (2) 我が国で飼育されてきた主な品種
- (3) 個体鑑定のポイント
- (4) 捕獲による導入
- (5) 薬剤による保定・制御
- (6) 麻酔銃や吹き矢による捕獲
- (7) シカの運搬

4. 養鹿経営の実際に学ぶ

- (1) 養鹿の魅力
- (2) 施設と鹿舎
- (3) 飼養の実際
- (4) 養鹿経営のモデル
- (5) 鹿産物の販売戦略

第4章 飼養管理の実際

1. 飼養管理の原則とポイント

- (1) 飼養管理の原則
- (2) 群分けのポイント
- (3) 群れ観察のポイント
- (4) 給餌のポイント
- (5) 放牧と調教のポイント

2. 雄シカの飼養管理

- (1) 鹿茸成長期
- (2) 交配期
- (3) 越冬期（体力回復期・鹿茸成長準備期）

3. 雌シカの飼養管理

- (1) 交配期
- (2) 妊娠期
- (3) 哺乳期

4. 幼鹿の飼養管理

- (1) 幼鹿の成長・発育
- (2) 初生子ジカ
- (3) 哺乳子ジカ
- (4) 離乳ジカ
- (5) 育成シカ

5. シカの繁殖生理

- (1) 繁殖生理のサイクル

(2) 雄ジカの繁殖生理

(3) 雌ジカの繁殖生理

(4) シカの交配技術

(5) シカの人工授精

(6) シカの妊娠と分娩

6. 疾病対策

- (1) シカのかかりやすい疾病
- (2) 寄生虫によるもの
- (3) 原虫によるもの
- (4) ウイルスによるもの
- (5) 皮膚病ほか
- (6) 航酸菌症（ヨーネ病・結核病）

第5章 シカ資源の利用と開発

1. シカ資源の利用に向けて

- (1) シカ資源の可能性
- (2) 鹿肉
- (3) 革
- (4) 幼角（袋角、鹿茸）
- (5) 鹿枯角・鹿骨など

2. 鹿肉の利用と開発

- (1) 栄養と機能性
- (2) 薬膳利用の可能性
- (3) 鹿肉料理の基本
- (4) 鹿肉料理の実際
- (5) 鹿肉販売の基本
- (6) 鹿肉加工処理の基本

3. 皮革の利用と開発

- (1) 鹿皮革の特徴と用途
- (2) 原皮の加工
- (3) 日本皮革のエコレザー認証

4. 幼角（鹿茸）の利用と開発

- (1) 鹿茸の効能
- (2) 漢方薬への利用
- (3) 鹿茸の成熟と切り取り

発行元：

農文協（一般社団法人農山漁村文化協会）

〒107-8668 東京都港区赤坂 7-6-1

TEL. 03-3585-1144 / FAX. 03-3585-3668